

平成26年度G空間関連予算（衛星測位）

平成26年度（9府省庁32施策）	政府予算額： 13,781百万円（施策単位で額を確認できるものについて集計。交付金等を除く）
平成25年度（9府省庁34施策）	政府予算額： 12,245百万円（施策単位で額を確認できるものについて集計。交付金等を除く）

※十万円の位（少数点第一位）を四捨五入している関係で、各欄計数の和と総計が一致しないところがある。

内閣府		平成26年度政府予算額 12,499百万円			
	施策名	施策の概要	平成25年度政府予算額 (百万円)	平成25年度補正予算額 (百万円)	平成26年度政府予算額 (百万円)
	実用準天頂衛星システムの開発・整備・運用	「実用準天頂衛星システム事業の推進の基本的な考え方」（平成23年9月30日閣議決定）において、準天頂衛星システムは、産業の国際競争力強化、産業・生活・行政の高度化・効率化、アジア太平洋地域への貢献と我が国プレゼンスの向上、日米協力の強化及び災害対応能力の向上等広義の安全保障に資するものであり、我が国として、実用準天頂衛星システムの整備に可及的速やかに取り組むこととする、とされたことを踏まえ、測位衛星の補完機能（測位可能時間の拡大）及び測位の精度や信頼性を向上させる補強機能等を有する準天頂衛星システムを開発・整備・運用する。（打上げを含む）	10,555	14,820	12,499
		省庁計	10,555	14,820	12,499
		施策数	1	1	1

警察庁		平成26年度政府予算額 ー			
	施策名	施策の概要	平成25年度政府予算額 (百万円)	平成25年度補正予算額 (百万円)	平成26年度政府予算額 (百万円)
	110番通報における位置情報通知システムの運用	衛星測位を用いた携帯電話からの110番通報における位置情報通知システムを運用する。	1,688の内数	-	511の内数
	捜査員の位置情報の把握への衛星測位の活用	捜査員の位置の把握に衛星測位を利用する。	維持経費等の予算措置	-	維持経費等の予算措置
	地域警察官の位置情報の把握への衛星測位の活用	地域警察官の位置の把握に衛星測位を利用する。	648の内数	-	520の内数
	大規模災害時における政府の危機管理体制の強化	ヘリコプターや広域緊急援助隊の位置の把握に衛星測位を利用する。	維持経費等の予算措置	-	維持経費等の予算措置
		省庁計	-	-	-
		施策数	4	-	4

総務省		5 施策	平成26年度政府予算額 191百万円		
	施策名	施策の概要	平成25年度 政府予算額 (百万円)	平成25年度 補正予算額 (百万円)	平成26年度 政府予算額 (百万円)
	準天頂衛星時刻管理系設備の運用に必要な経費	平成23年度まで総務省が研究開発に取り組んだ準天頂衛星初号機「みちびき」システムの時刻管理系設備について、引き続き運用を行う。	79	—	77
	安全安心・国民生活の利便性向上のための時空標準技術の研究開発	(独)情報通信研究機構(NICT)は、セシウム原子時計等を用いて日本標準時の決定、維持を行い、日本標準時を固定回線等ネットワークを利用して必要な事業者等へ供給。 また、日本標準時の精度と信頼性、耐災害性の向上のため、現在東京にしかない日本標準時発生機能を分散させるべく、分散管理・供給手法の研究開発を行うほか、VLBI(超長基線電波干渉法)技術による時刻比較や次世代光・時空標準技術に関する研究開発を行う。	独立行政法人情報通信研究機構運営費交付金(28,174百万円)の内数	—	独立行政法人情報通信研究機構運営費交付金(28,070百万円)の内数
	携帯電話からの119番通報における発信位置情報通知システムの導入促進	衛星測位を用いた携帯電話からの119番通報における発信位置情報通知システムの導入促進を図る。	消防防災施設整備費補助金(1,900百万円)の内数	—	消防防災施設整備費補助金(1,619百万円)の内数
	緊急消防援助隊動態情報システムの運用	大規模災害等発生時において、緊急消防援助隊が出動した場合にその動態情報を把握するシステムを適切に運用する。	47	—	79
	ヘリコプター動態管理システム整備	ヘリコプター位置情報をイリジウム衛星通信にて地上で把握し、広域応援時にヘリコプターの運用調整に活用する。	229	226	35
		省庁計	355	226	191
		施策数	5	1	5

外務省		2 施策	平成26年度政府予算額 1百万円		
	施策名	施策の概要	平成25年度 政府予算額 (百万円)	平成25年度 補正予算額 (百万円)	平成26年度 政府予算額 (百万円)
	日米GPS全体会合	1998年の日米GPS共同声明に従い定期的に開催されるGPS等の利用に関する重要事項を検討・討議するための会合を開催する。	1	—	1
	国際衛星航法システム(GNSS)に関する国際委員会(ICG)及びGNSSシステムプロバイダーフォーラムへの参画	国連宇宙空間平和利用委員会(COPUOS)において設立された衛星航法システムに関する国際委員会(ICG)及びGNSSシステムプロバイダーフォーラムに引き続き参加するとともに、米国等との協力を進め、GNSSの開発及び利用における国際連携、他国のGNSSとの共存性・相互運用性の向上への取組を一層進める。	国際会議参加費及び国際会議に必要な経費(11)の内数	—	国際会議参加費及び国際会議に必要な経費(10)の内数
		省庁計	1	—	1
		施策数	2	—	2

文部科学省 5 施策 平成26年度政府予算額 一					
	施策名	施策の概要	平成25年度 政府予算額 (百万円)	平成25年度 補正予算額 (百万円)	平成26年度 政府予算額 (百万円)
	衛星航法による航空機精密進入の高信頼化技術に関する研究開発	GNSSの信号は、電離圏異常等の電波障害の影響で一時的に利用できなくなる可能性があることを踏まえ、航空機の安全運航のため、慣性航法装置等の機上装置を用いた補強による高信頼化技術の研究開発を行う。	独立行政法人宇宙航空研究開発機構 運営費交付金 (109,769)の内数	—	独立行政法人宇宙航空研究開発機構 運営費交付金 (112,133)の内数
	衛星測位を利用した人工衛星等の高精度軌道決定等	衛星測位等を利用して周回衛星等の軌道を高精度で決定するとともに、その精度の向上を図る研究を実施する。	独立行政法人宇宙航空研究開発機構 運営費交付金 (109,769)の内数	—	独立行政法人宇宙航空研究開発機構 運営費交付金 (112,133)の内数
	災害救援航空機に関する情報共有・運航管理技術の研究開発	災害時において、救援航空機と対策本部等との間で、地理空間情報を活用して、災害任務発生状況や各機体の運航状況等の情報を共有化し、より迅速かつ安全な救援活動を実現するための最適運航管理システムの研究開発を進める。	独立行政法人宇宙航空研究開発機構 運営費交付金 (109,769)の内数	—	独立行政法人宇宙航空研究開発機構 運営費交付金 (112,133)の内数
	海底地殻変動観測技術の高度化	衛星測位技術を用いた海底地殻変動観測システムの開発を実施する。	200	—	—
	宇宙インフラ活用人材育成のための大学連携国際教育プログラム	宇宙インフラ（観測・通信・測位）の利活用を前提とした社会基盤システムの開発・実現・運営を、国際的なスケールで構想・計画できる人材を長期的な視点から育成する国際プログラムを開発する。	宇宙科学技術推進調整委託費 (425)の内数	—	宇宙科学技術推進調整委託費（393）の内数
	測位衛星の簡易メッセージ機能の価値を向上させる国際展開可能な防災情報プラットフォームの構築	測位衛星の簡易メッセージ配信による人への避難支援はもとより、車両や防災設備等のモノの制御などの多様なニーズに対応することができる防災情報プラットフォームの構築と検証を行う。	宇宙科学技術推進調整委託費 (425)の内数	—	宇宙科学技術推進調整委託費（393）の内数
		省庁計	200	—	—
		施策数	6	—	5

農林水産省		4 施策	平成26年度政府予算額 125百万円		
	施策名	施策の概要	平成25年度 政府予算額 (百万円)	平成25年度 補正予算額 (百万円)	平成26年度 政府予算額 (百万円)
	操業管理適正化	我が国遠洋漁船の操業秩序確保の観点から、VMS（船舶位置測定システム）を活用した操業位置の監視及び漁獲報告との整合性の確認を行う。	65	—	54
	VMSシステムの運用	大中小型まき網漁業等の操業の透明性を確保することにより、漁業調整の円滑化と漁業取締の効率化を図る観点から、VMS（船舶位置監視システム）を運用する。	71	—	71
	農業環境資源地点情報の整備	土壌、植生、昆虫、土壌微生物等の衛星測位等による採取地点情報の整備を行い、データベース化し、時空間情報として視覚化する手法を開発する。	独立行政法人農業環境技術研究所連 営費交付金 (2,730)の内数	—	独立行政法人農業環境技術研究所連 営費交付金 (2,930)の内数
	国産農産物の革新的低コスト実現プロジェクト	ほ場内にオペレータが入ることなく、稲麦大豆作において耕うんから収穫まで、すべてのほ場作業をロボット化する無人機械作業体系を開発する。	委託プロジェクト 研究(468)の内数	—	—
	生産現場強化のための研究開発	ほ場内にオペレータが入ることなく、稲麦大豆作において耕うんから収穫まで、すべてのほ場作業をロボット化する無人機械作業体系を開発する。	—	—	委託プロジェクト 研究(1,877)の 内数)
	衛星測位・無線通信技術を用いた農地への野生動物追跡技術の開発	鳥獣害予防のために、無線通信技術を用いた野生動物の接近警報及び衛星測位による精密な位置情報の取得を行う。	独立行政法人農業環境技術研究所連 営費交付金 (2,730)の内数	—	—
	携帯端末を利用した農業情報作成・共有・連携システムの開発	飼料イネの収穫・調整・集荷作業や堆肥散布など各作業を円滑に進めるため、GPS搭載携帯情報端末を利用した、記録すべき項目を自由に設定できる、広域コントラクター向け作業計画・管理支援システムを開発する。	1	—	—
	攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業	産学の英知を結集して、様々な先端技術を基に革新的な技術体系を組み立て、ICT、ロボット技術等を活用した米の低コスト生産等を実現する革新的な技術体系を確立するための実証研究を行う。（具体的な研究課題を今後公募する予定）	—	委託プロジェクト 研究(10,000の内 数)	—
	省庁計		137	—	125
	施策数		6	1	4

経済産業省		1 施策	平成26年度政府予算額 50百万円		
	施策名	施策の概要	平成25年度 政府予算額 (百万円)	平成25年度 補正予算額 (百万円)	平成26年度 政府予算額 (百万円)
	準天頂衛星システム利用実証事業	準天頂衛星の高精度測位サービスを活用した実証を行う。	50	—	—
	NEDO国際研究開発・実証事業	準天頂衛星の高精度測位サービスを活用した実証をアジア/太平洋地域で行う。	—	—	50
	省庁計		50	—	50
	施策数		1	—	1

国土交通省 9 施策 平成26年度政府予算額 915百万円					
	施策名	施策の概要	平成25年度 政府予算額 (百万円)	平成25年度 補正予算額 (百万円)	平成26年度 政府予算額 (百万円)
	GNSS連続観測システムの確実な運用による地理空間情報の提供	全国の電子基準点において測位衛星 (GNSS) の連続観測を行い、そのデータを収集・解析して電子基準点の正確な位置を求め、これらを提供する。また、国際GNSS事業等が実施する国際測地観測等への参加を行う。	568	—	594
	GNSS連続観測システムの高度化	GNSS対応型に更新した電子基準点のデータを地殻変動の検出でも活用するため、データの収集や解析を行うGEONET中央局において、各種GNSSに対応し、かつリアルタイムでの地殻変動検出能力を強化した解析システムの整備を進める。	132	—	128
	GNSSによる地殻変動推定における時間分解能向上のための技術開発	GNSS観測において、時々刻々と変化する地殻変動をより細かい時間間隔で捉える技術を開発し、過去の地震や火山活動の発生に至る過程の理解のために、高精度かつ細かい時間分解能で地殻変動を抽出する技術を開発する	—	—	7
	高度な国土管理のための複数の衛星測位システム (マルチGNSS) による高精度測位技術の開発	準天頂衛星を含む複数の衛星測位システム (マルチGNSS) のデータを統合的に利用し、短時間に高精度な位置情報を取得し、測量等に適用するための技術開発及び標準化を実施。	120	—	114
	交通分野における高度な制御・管理システムの総合的な技術開発の推進	鉄道・自動車等の各輸送モードにおける制御・管理システムの技術的要件を整理・検討し、これまで開発されている技術の成果・課題を把握し、他の輸送モードへの応用の可能性を有するものを見出し、これらの輸送モード間で応用・共通化を図るための技術的検討を行う。	33	—	29
	衛星測位を利用した航空交通の安全確保及びサービス向上	航空交通の安全確保及び効率性向上のため、運輸多目的衛星 (MTSAT) を用いた衛星航法補強システムを運用し、国際民間航空機関 (ICAO) 基準に準拠したGPS補強情報を提供する。	空港等維持運営費 (航空衛星センター) の内数	—	空港等維持運営費 (航空衛星センター) の内数
	GPS波浪計による波浪・津波観測の高精度化	GPS波浪計による波浪及び津波観測システムについて、さらに準天頂衛星の測位情報も活用して、より高精度で安定した観測を可能とする改良の検討等を行う。	港湾整備事業費 (169,632) の内数	—	港湾整備事業費 (173,418) の内数
	衛星測位を利用した海上交通の安全確保	船舶交通の安全確保のため、全国に配置したディファレンシャルGPS局からGPSの補強情報を提供する。	91	航路標識整備事業費 (763) の内数	41及び航路標識整備事業費 (3,788) の内数
	海上保安庁における緊急通報118番 (位置情報等) の受付体制	緊急通報118番 (位置情報等) の受付体制の運用において衛星測位を利用する。	2	—	2
		省庁計	946	—	915
		施策数	8	1	9

防衛省 1 施策 平成26年度政府予算額 —					
	施策名	施策の概要	平成25年度 政府予算額 (百万円)	平成25年度 補正予算額 (百万円)	平成26年度 政府予算額 (百万円)
	自衛隊による衛星測位の利用	自衛隊の効率的かつ効果的な運用に衛星測位を活用する。	航空機購入費 (199,164) 艦艇建造費 (150,679) 武器購入費 (59,885) 通信機器購入費 (17,513) の内数	航空機購入費 (18,029) の内数	航空機購入費 (398,953) 艦艇建造費 (198,249) 武器購入費 (115,502) 通信機器購入費 (21,806) の内数
		省庁計	—	—	—
		施策数	1	—	1